

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和7年3月定例会	
議案番号 議案名	議案第64号 令和7年度松戸市一般会計予算 議案第71号 令和7年度松戸市松戸都市計画事業新松戸駅東側地区都市区画整理事業特別会計予算 議案第74号 令和7年度松戸市病院事業会計予算
議員名・会派名等	市民クラブ
賛否態度	賛成
賛否など態度決定に至った理由や討論	<p>皆様、おはようございます。市民クラブの廣瀬優斗です。</p> <p>過日開催されました予算審査特別委員会において審査された議案第64号、令和7年度松戸市一般会計予算から、議案第75号、令和7年度松戸市下水道事業会計予算まで、会派市民クラブを代表し、ただいまの委員長報告のとおり原案に賛成、修正案に反対の立場で討論させていただきます。</p> <p>令和7年度は人口50万人に到達した本市において、これまで以上の経済活性化が期待される一方、ガソリンをはじめとした資源価格、食料品等の物価、建設費の高騰など、市民生活を圧迫すると同時に市政運営においても非常に難しいかじ取りを求められることが想定されます。また、近年激甚化する多種多様な災害に対して、基礎自治体としての対策をさらに求められている状況でもあります。</p> <p>さて、歳入の根幹をなす市税は、近年稀に見る賃上げや地価の高騰などの影響もあり予算額は761億8300万円と、令和6年度から約50億円の増額となり過去最高税収が見込まれています。一方歳出におきましては、未来への投資としての新拠点ゾーンや新松戸駅東側地区、北小金駅南口東地区、常盤平駅周辺のまちづくり、新たなスポーツ施設の整備や、学校をはじめとした体育館の空調設備整備などの事業も行う中、保育園等の運営支援に加え、私立幼稚園教諭の処遇改善策や、障がい児者・高齢者の支援などの経費、社会保障費の増加など、物価高も重なり、扶助費や経常的経費の比率が高く、依然として財政運営の自由度は決して高い状況ではないものと推察されます。こうした中、今回の予算審査においては、自助や共助を促進し補完的に支援する予算になっているのか、世情の変化に対応した予算となっているか、未来への投資が積極的に行われているか、財政運営の自由度が決して高い状況でないからこそ、より慎重に判断し明確な価値基準を持って施策を展開する必要があるという我々の価値観を前提に、個々の質疑を展開させていただきました。</p> <p>以下、討論時間の制約上、取り上げたテーマの一部となりますが、賛成の理由と指摘事項を述べてまいります。</p>

まず、総務費につきましては、デジタル住民ポータルサービス「デジまつ」やメタバース市役所「メタまーつ」、庁内手続き案内システムなど、市民が市役所とデジタル技術を用いて繋がり、行政サービスを受けるための費用が計上されております。多種多様な入り口を用意し、市民ニーズに応じていく姿勢は評価しつつも、多角化しすぎて市民が困惑しないよう注意をしていただき、引き続き利便性の向上と業務効率化に努めていただくよう要望いたします。また、位置情報ビッグデータサービスにつきましても、縦割り行政を超えた最大限のデータ活用をしていただき、更なる松戸市の発展を期待しております。さらに、パラダイスエア委託料、中心市街地活性化エリアマネジメントに関する費用について、いま一度これまでの事業評価を行いつつ、特定の地域に偏らない、幅広い市民に事業が認知される取り組みをと要望いたします。次に、新年度より総務費に組み込まれた文化スポーツ費についてです。令和6年度新設された文化スポーツ部でございますが、文化やスポーツに期待される役割が、教育分野にとどまらず商業の視点、まちづくりの視点など、広域的になっている中、その期待に応えるべく、精力的にお取り組みいただいていることを評価しつつも、文化・スポーツという幅広い意味合いを持つ分野の業務量としては抱え込みすぎではないかという懸念もございます。新年度では文化スポーツ創造のまち推進方針策定委託料が計上されておりますが、特に「文化」について、方針の策定に至っては、本市が捉える文化の定義というものをぜひお示しいただき、文化・スポーツを通じた地域コミュニティの支援、活性化やプロスポーツの誘致に向け、本市の更なる発展に寄与していただくことを期待いたします。

次に、民生費であります。超少子高齢化社会の中、家族構成も変化し、子どもや高齢者を取り巻く環境が急速に変化している現代において、必要とされている支援も多様化しております。こうした中、高齢者つながり協力員事業では、高齢者の見守り活動を通じて共助の動きを促進するとともに、社会参加を促進し、介護予防活動の活性化を図ることを評価いたします。新年度からは体制の見直しを行うということで、行政としてのサポートをしつつも、後年度以降の事業評価もしっかりと行なっていただくよう要望いたします。また、ひとり親家庭支援について、ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金が新たに創設されます。ひとり親家庭の就労の課題は切実です。今回の給付金創設を評価しつつも、一人ひとり丁寧にアウトリーチを行い、当事者それぞれに合った職への就労をご支援いただき、経済的自立に向けてのサポートを宜しく願います。続けて学校との連携強化委託料に関しましては、放課後児童クラブの支援員が午前中は学校で勤務する中で、1日を通して児童の生活の連続性を確保し、教育と福祉が連携した横断的な支援を行うこと評価いたします。ぜひ、今回の取り組みを通じて多くの課題にアンテナを張っていただき、子どもの健全

な成長に寄与していただけることを期待しています。次に、私立幼稚園処遇改善補助金、いわゆる「幼稚園版松戸手当」につきましては、質の高い幼児教育を提供いただくため、保育士との賃金格差を縮め、幼稚園の人材確保の支援を行うことを評価いたします。保育士と幼稚園教諭はその業務の性格が異なることからそれぞれにどの程度補助金を出すかは慎重な判断が必要かと思いますが、どちらも子どもの成長に大きく寄与する職種であることから、松戸市において、質の高い保育・質の高い幼児教育が引き続き提供されるよう、国や県の動向を注視しながら適宜適切な支援をしていただくよう要望いたします。

次に衛生費についてです。まず、簡易血糖検査については、将来の医療費抑制に寄与する重要な事業でございます。現在は薬局等の自前の機械を活用させていただき検査を行なっておりますが、高額な機械を利用していることから、実施薬局も少なく事業を広げていくことも難しい側面もありますので、機械購入の補助も含めてご検討をと要望いたします。また、新焼却施設の建設について、施設整備詳細調査業務委託料などの予算が計上されましたが、現状、可燃ごみの処理を市外にお願いしている状況であり、和名ヶ谷クリーンセンターの老朽化も日に日に進行している状況でございます。目指している令和16年度からの稼働が決して遅れることのないよう強く要望し、今後もしっかりと注視してまいります。

次に、農林水産業費につきましては、高齢化と後継者不足に伴う耕作放棄地は、国においても、本市にとっても、なかなか解決に至らない長年の課題となっております。矢切ねぎをはじめとした松戸産農作物のブランド化に力を入れるとともに、資材や燃料など物価高騰支援をお願いし、農林政策へのさらなる御努力をお願いいたします。

次に、商工費であります。新年度はデジタル化チャレンジ補助金の拡充を行なっていただきます。この他にもいくつかの中小企業支援に係る補助金を用意していただいておりますが、これらの補助金がしっかりと活用いただけるよう周知徹底をお願いいたします。また、改めて本市における創業や経営にどのようなメリットがあるのかいま一度突き詰めていただき、引き続き企業誘致の促進・中小企業支援などに御尽力いただきますようお願いいたします。労働費、農林水産業費並びに商工費につきましては、総務費、民生費に比べると予算規模的には見劣りがするかもしれませんが、総務費も民生費も、その原資は市民の経済活動による税金によって成り立っております。言わずもがな、雇用や新たな価値を生み出し税収が生み出されなければ、これらの事業は成り立たない重要な業務の数々と認識しておりますので、職員の皆様の創意工夫には大いに期待しております。

次に、土木費であります。

常盤平駅周辺まちづくり関係委託料については、まちづくり方針の策定と U R 都市機構との覚書の締結を踏まえ、地域に顕在化している教育に関する課題解決も含めた、活気あふれる街にリニューアルしていけるよう、地域住民との慎重な合意形成に配慮いただきながら、民間活力の活用も併せて庁内一丸となって取り組んでいただきますようよろしくお願いいたします。大いに期待しております。また、交通政策に関しましては、先に述べた常盤平地域のまちづくりにも関連しますが、自動運転実証調査委託料として常盤平地域での実証実験が行われます。まちのリニューアルに合わせ、先進技術も取り入れながら交通課題の解決の糸口となることを期待しております。さらには、コミュニティバスの高塚新田コースでの実証運行も予算計上されております。交通空白地帯の解決に向けた担当課のご努力を大いに評価するとともに、地域住民にとっても待望の事業でございますので確実な運航に向けて着実に推進いただきますようよろしくお願いいたします。

次に、消防費につきましては、避難所運営委員会補助金が新たに創設されました。いつ起こるかわからない多種多様な災害に備え、一人でも多くの命を救うためには共助の精神が不可欠であります。地域によって避難所運営委員会の日頃の活動には温度差がありますので、今回の補助金創設に合わせて、日頃からの活発な活動を促進していけるようご支援いただくとともに委員会が立ち上がっていない地域においても周知していただき、立ち上げのきっかけにさせていただくことを期待いたします。

次に、教育費であります。

新年度では、教育振興基本計画の策定関係経費が計上されております。「学びのまつどモデル」を基本とした児童生徒一人一人に寄り添った教育を展開する計画の策定を求めるとともに、長年の懸案事項である、適正規模適正配置について、児童生徒減少の事実から目を逸らさず、しっかりと推進していただくことを強く要望いたします。次に、始業前の児童見守り関係経費についてです。我が会派の中村のりこ議員からの一般質問を受け、いわゆる「小一の壁」の解消に向けた取り組みについて、県内初の取り組みを、令和 7 年度の重点化事業の一つとして取り入れて頂きました。また、消防局と連携し、研修の実施などを行なっただけということで、安全面への配慮もいただけること、大いに評価いたします。新事業ということで課題も出てくるかと思いますが、適宜ご対応いただき、子どもはもちろんのこと、共働き家庭やひとり親家庭の負担軽減になることを期待しております。次に、市立松戸高校創立 50 周年記念式典開催負担金について、節目の記念行事として素晴らしい式典になることを大いに期待しております。また、創立 50 年ということで各設備が老朽化している点についても理解いたしました。本市の高等教育を担う重要な機関として適宜更新をしていただき、引き続き特色ある教育活動の提供をよろしくお願いいたします。

次に、これらの事業を実施するための財源となる歳入についてであります。

市税については冒頭申し上げたとおり、歴史的な賃上げや、地価の高騰の影響もあり、前年度比約50億円増の761億8300万円を見込んだとのございます。引き続き、予算の根幹となる市税収入の確保に努めていただきますようお願いいたします。加えて、委員会中質疑をさせていただきましたが、新年度より臨時財政対策債の発行が、制度創設以来初のゼロとなりました。国の地方財源確保の見通しが立ち、地方交付税額も増額を見込んでおりますが、日銀の動向もあり、これからは金利のある世の中へと変化していきます。自治体による資金調達もその影響を当然受けるため、ぜひ創意工夫いただき財源確保に取り組んでいただきたいと思っております。一方、未来への投資として、新拠点ゾーンをはじめとした各地域でのまちのリニューアルも行われます。将来の税収増につながる事業に関しては積極的に取り組んでいただき持続可能なまちづくりを期待しております。

以上、一般会計につきまして、指摘等を含め、賛同する趣旨を述べてまいりました。

特別会計、企業会計についても同じく賛同をいたしますが、新松戸駅東側地区土地区画整理事業会計と病院事業会計については時間の都合上要点のみとなりますが一言申し上げたいと思っております。

まず、新松戸駅東側地区土地区画整理事業について、当事業は市施工の区画整理ではありますが、令和元年の認可による事業開始以前からいわゆる井戸端会議に始まり、対象となる地権者の皆さんへの理解を深めるため丁寧に説明し、進めてきていると認識しております。本来であれば昨年度中に終える予定であった仮換地指定も延期し、昨年12月9日によろやく仮換地指定がされ3ヶ月の不服申し立て期間中には不服申し立てはなかったとのござです。すでに多くの地権者が契約を済ませ建物の撤去が進み、アクセス道路につながるトンネル工事も完成し、いよいよ事業が形に見えるようになり地元でも期待が高まっています。長い時間をかけたこともあり、昨今のインフレによる今後の工事費の高騰は懸念をするところではありますが、市の負担額を少しでも減らせるように努力されるということに期待し、賛成します。

病院事業に関しましては、病院事業管理者自ら、人件費率の高さの認識を共有し、その上で医業収益の確保に向けた具体策と人件費の改善に取り組むことを明言いただきました。公立病院の性質上、経営的に難しい状況に陥ってしまうことは公助の考え方の上で飲み込まなければならない部分もありますが、無尽蔵に一般会計から繰り入れる、税金を投入することはできませんので、独法化や民間への経営委託といった選択肢も排除せず、まずは早急な抜本的な経営改革を行なっていただき、市民の生命・健康を保持するその役割を果たしていただきたいと思っております。

その他、特別会計、企業会計におきましても設置目的に従い、引き続き御努力をお願いするとともに、今後も、一般会計からの繰入金及び負担金等になるべく依存しない体質強化に努めていただきますようお願いいたします。

以上、本定例会に提案され、予算審査特別委員会に付託を受けた議案第64号、令和7年度松戸市一般会計予算から議案第75号、令和7年度松戸市下水道事業会計予算までの12議案全てに賛成いたします。よって、一般会計修正案には反対いたします。代表質問でもお伝えしましたが、混迷を深める社会情勢だからこそ、執行部、議会としっかり議論し、車の両輪として責任を共有した上で、ともに市政を前に進めていくことの重要性はますます高まっています。ぜひ質疑の過程における要望意見等をお酌み取りいただき、今後の市政運営に活かしていただきますようお願い申し上げます。

最後になりますが、予算審査に当たり、執行部の皆様の丁寧な御答弁、御対応に改めて感謝を申し上げますとともに、市民生活を守り、本市発展のため、誠実でまっすぐな本市職員の日ごろの事業執行に敬意を表し、会派市民クラブを代表しての討論を終わらせていただきます。

ご清聴誠にありがとうございました。